

既存IPv4サーバーをIPv6環境に対応させる A10 Thunder ADCのIPv4⇔IPv6サーバー負荷分散機能

IPv6サービスの必要性

世界中のIPv4グローバルアドレスを管理するIANAは2011年2月3日、IPv4グローバルアドレスの新規割当て在庫が枯渇したことを発表しました。このIPv4アドレス枯渇はすでに10年程前から予測されていたため、多くのクライアント端末はすでにIPv6アドレスがサポートされています。従来、通信事業者やサービス事業者は主にIPv4アドレスを使用していましたが、IPv6アクセスサービスは徐々に拡充されています。今後は、IPv6クライアントからのアクセスが爆発的に増加することが予想されます。IPv4とIPv6は互換性を持たないため、サービス事業者はIPv6クライアント向けにIPv6でサービスを提供する一方で、既存のIPv4クライアントに対してもサービスを継続する必要があります。全てのサーバーをIPv6アドレスに対応させる場合、機器やアプリケーションの更新、検証などIPv6化に膨大な費用と期間が必要になる上、IPv4/6両方のサーバーを運用する結果となり、運用の手間とコストが二重に発生してしまいます。

A10 Thunder ADCは、IPv6クライアントからのアクセスをIPv4に変換してサーバーに負荷分散する、IPv4⇔IPv6サーバー負荷分散機能を持っています。A10 Thunder ADCをサーバーの手前に導入すれば、既存のIPv4設備をそのまま使用して、IPv4/6両方のクライアントへサービスを提供できるサーバー・サイドトランスレーターとして利用できます。



IPv6 アクセス急増！

多くのIPv6クライアントから既存のIPv4サーバーへアクセスできない状況が発生。

全てのサーバーをIPv6化？

安定稼働中のサーバー変更は困難。
OS/アプリのIPv6化に膨大なコストと期間が必要。

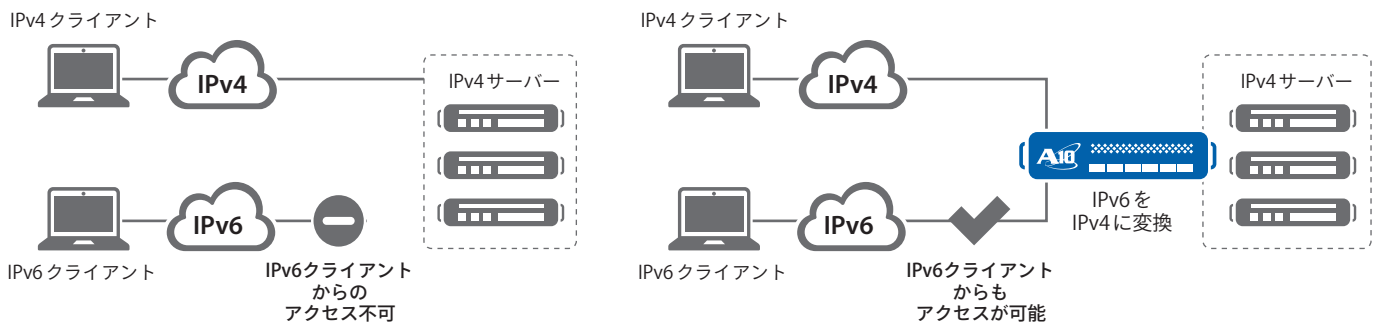
IPv4/IPv6 混在環境へ対応

IPv6サービスを提供しつつ
IPv4サービスも継続して提供。

既存のIPv4サーバーをなるべく変更せず、短期間でIPv4/IPv6クライアントにサービスを提供したい

A10 Thunder ADCのIPv4⇔IPv6サーバー負荷分散機能

A10 Thunder ADCのIPv4⇔IPv6サーバー負荷分散機能は、IPv6クライアントからのリクエストをIPv4サーバーへ、またはIPv4クライアントからのリクエストをIPv6サーバーへ負荷分散することができる機能です。この機能を利用すると、A10 Thunder ADCをサーバーの前に導入するだけで、既存IPv4アプリケーションサービスをIPv6クライアントに、また、新規IPv6アプリケーションサービスを既存IPv4クライアントに提供できるようになります。サービス提供事業者は、IPv4⇔IPv6負荷分散を利用することにより、IPv4/IPv6混在環境において、既存の設備を最大限有効活用しながら、IPv6に円滑に移行することが可能です。

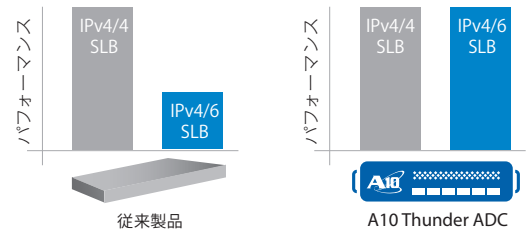


IPv6クライアントに対応していないシステム

A10 Thunder ADCによりIPv6クライアントに対応

IPv6にネイティブで対応

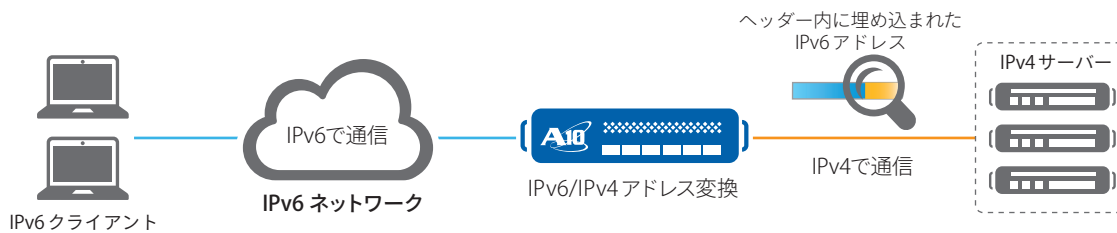
従来の製品は、IPv6対応を考慮しておらずIPv4処理に特化した設計になっているため、IPv6使用時に追加のライセンス購入が必要になったり機器のパフォーマンスが劣化する場合があります。A10 Thunder ADCは、当初からIPv6を視野に入れて開発が進められていたため、IPv6使用時でも、IPv4を使用した時と同等のパフォーマンスを実現できます。また、A10 Thunder ADCはIPv6を標準でサポートしているため、追加のライセンスを購入する必要はありません。



IPv6使用時のパフォーマンス比較

IPアドレス変換後のクライアント特定

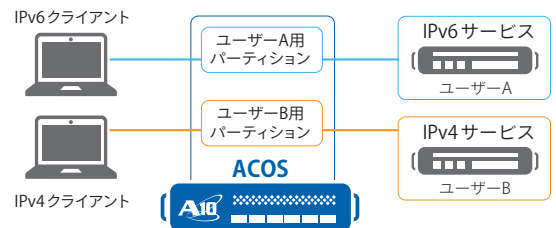
IPv6クライアントがNAT経由でサーバーにアクセスした場合、通常クライアントのIPアドレスはNAT機器のIPアドレスに書き変わってしまうため、クライアントのIPアドレスを特定することができません。A10 Thunder ADCではNATした場合でも、ヘッダーにIPv6アドレスを埋め込むことができるため、クライアントのIPv6アドレスの特定が可能です。これにより課金管理など、クライアントの特定が必要なサービスでの利用も可能になります。



IPv4⇄IPv6負荷分散時にクライアントの特定が可能

マルチテナント環境でのIPv4/IPv6サービス

A10 Thunder ADCは、内部リソースを仮想的に複数のパーティションに分割してマルチテナントを構成できるADP(Application Delivery Partition)機能をサポートしています。ADP機能では、IPv4/IPv6アドレスの併用が可能のため、マルチテナント内の顧客がIPv4からIPv6に移行する場合でもスムーズなサービス提供が可能です。IPv6サービス用に新たに機器を増設する必要がないため、設備コストを抑えることができます。



ADP機能によるマルチテナント構成

IPv4/IPv6混在環境でのアプリケーションサービスに最適なA10 Thunder ADC

A10 Thunder ADCにより、既存のIPv4サーバーの手前に導入するだけで、手軽にIPv4/IPv6両方のクライアントへサービスを提供できます。マルチコア・マルチCPUの能力を最大限引き出す独自OS「ACOS® (Advanced Core Operating System)」は、IPv6にネイティブで対応しており、IPv4/IPv6混在環境でも圧倒的なパフォーマンスを提供します。A10 Thunder ADCは標準機能としてIPv6対応機能を搭載しているため、追加でライセンス購入やサポート費用が発生することはありません。A10 Thunder ADCは、IPv4/IPv6混在環境でのアプリケーションサービスに最適です。

A10 Networks / A10ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) はアプリケーションネットワーク分野におけるリーダーとして、高性能なアプリケーションネットワークソリューション群を提供しています。世界中で数千社にのぼる大企業やサービスプロバイダー、大規模Webプロバイダーといったお客様のデータセンターに導入され、アプリケーションとネットワークを高速化し安全性を確保しています。

A10 Networksは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界各国の拠点からお客様をサポートしています。

A10ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークソリューションをご提供することを使命としています。詳しくはホームページをご覧ください。

www.a10networks.co.jp Facebook: <http://www.facebook.com/A10networksjapan>

A10ネットワークス株式会社

〒105-0001
東京都港区虎ノ門 4-3-20
神谷町MTビル 16階
TEL: 03-5777-1995
FThunder: 03-5777-1997
jinfo@a10networks.com
www.a10networks.co.jp

海外拠点

北米 (A10 Networks本社)

sales@a10networks.com

ヨーロッパ

emea_sales@a10networks.com

南米

latam_sales@a10networks.com

中国

china_sales@a10networks.com

香港

HongKong@a10networks.com

台湾

taiwan@a10networks.com

韓国

korea@a10networks.com

南アジア

SouthAsia@a10networks.com

オーストラリア/ニュージーランド

anz_sales@a10networks.com

お客様のビジネスを強化するA10のアプリケーションサービスゲートウェイ、Thunderの詳細は、A10ネットワークスのWebサイトwww.a10networks.co.jpをご覧ください。A10の営業担当者にご連絡ください。

Part Number: SBThunder20151026_IPv6SLB

Oct 2015

©2015 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 Networks, A10ロゴ, A10 Thunder, ACOS, Thunder, Thunder ADC, は米国およびその他の各国におけるA10 Networks, Inc.の商標または登録商標です。その他上記の全ての商品およびサービスの名称はそれら各社の商標です。その他の商標はそれぞれの所有者の資産です。A10 Networksは本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networksは、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございますので、ご注意ください。